



伊場遺跡群の弥生時代後期資料にみる「模倣」

伊場遺跡は、弥生時代から平安時代を主体とする遺跡です。中区東伊場二丁目周辺の海岸平野に立地しており、一部は史跡公園として保存整備されています。梶子遺跡や鳥居松遺跡、城山遺跡等が隣接しており、それらを含めて伊場遺跡群と総称されています。

伊場遺跡では、昭和二十四年の遺跡発見以降、発掘調査で弥生時代後期の集落を囲む三重の環濠が確認され、木製のようい等の重要遺物が多数出土しています。また、伊場遺跡群全体でも、近年の発掘調査の進展により、弥生時代後期の出土遺物が増えています。



写真1 装飾高環



写真2 ワイングラス形高環



写真3 蓋付き無頸壺と小型の模倣品



写真4 土器(壺)とその小型模倣品



写真5 小銅鐸



写真6 銅鏡形の土製模倣品

そのような状況の中で、浜松市文化財課と浜松市博物館では、伊場遺跡群の弥生時代後期資料の再整理作業を行っています。そこで改めて注目されたのは、別のものを模倣して作られた遺物の多さです。

そうした模倣のあり方はさまざまですが、ここでいくつか紹介します。

別素材による模倣 装飾高環(写真1)は、脚部に突帯が巡り、木の葉形やスリット状のヌカシ孔を有します。他地域で出土する木製高環と形態が類似しており、それを土器として模倣したと考えられます。

他に、ワイングラス形高環や無頸壺(写真2・3)も、同様の形状の木器を土器として模倣したものとみられます。

また、本来石やガラスで作られる勾玉や丸玉等が、土で作られている例もあります。

小型化による模倣 土器や銅鐸については、同一素材の小型模倣品(写真4・5)や、銅鏡等の小型土製模倣品(写真6)が出土しています。いずれも本来の用途は失われており、模倣的な行為を伴う祭祀等で、実物の代わりに用いられたものとみられます。

他地域の特徴の模倣 土器の形や文様等に他地域の特徴を取り入れたものがみられます。地理的に近い中東遠地域を中心に、関東地方や伊勢湾岸地域の特徴を有するものが確認されています。

以上のような、遺物にみる模倣のあり方から、伊場遺跡群では、他地域との交流によって多くの文化や情報を受容していたこと、祭祀等における模倣的な行為が盛んであったことをうかがうことができます。

そうした面からも、伊場遺跡群は、その規模の大きさとともに、当地域の中核となる一大拠点集落であったと評価することができます。

【博物館所蔵資料の紹介】
「伊場遺跡群出土 環状土製品」



環状土製品（中央の1点のみ石製品）

環状土製品は、伊場遺跡の環濠を中心に出土している弥生時代後期の遺物です。形状は中央に孔を有し、断面形はそろばん玉のような扁平なひし形状をしています。直径は3.3～7.9 cm、厚さは1.5～2.7 cmと個体によって大きさにばらつきがあります。また両面には、中央の孔から周縁部に向かって1筋の沈線が刻まれています。

この遺物の用途は不明ですが、実用品としては考えにくく、何か別の器物を模倣したもので、祭祀等の儀式的な行為に用いられたと考えられています。

環状土製品は、形状だけを捉えれば環状石斧とよく似ています。環状石斧とは、円盤状の石材の中央に孔を有し、周縁を薄く刃となるように磨かれた石器です。孔に棒を挿し込んで使われたと考えられており、こん棒のような武器とする説や、儀式用に用いる杖の飾りとする説等がありますが、用途ははっきりわかりません。

環状土製品の両面にみられる沈線が環状石斧には無いため、環状石斧の模倣であると断定はできませんが、可能性の一つとすることが許されて、上記のように環状石斧＝武器説を採ることができるならば、祭祀における模擬的な戦闘行為での代用品として用いられたことが推測できます。

伊場遺跡の環濠からは、他にもさまざまな祭祀に係る遺物が出土しており、環状土製品も、多様な祭祀の様相を示す遺物の一つとして重要な資料です。

催し物のご案内

★テーマ展 「家康伝承と浜松」

開催中～9月24日(日)

浜松の各地に残された、家康にまつわる「家康伝承」に焦点をあてて、後世の浜松の人々がもった家康に対するイメージについてご紹介します

★ギャラリートーク

9月2日(土) 10:00から30分程度

★講座「家康伝承と浜松」

9月9日(土) 10:00～11:00

*要申込(8月22日まで、詳細はHP等参照)

★小展示「家康ゆかりの地パネル展～中区編～」

開催中～令和6年1月8日(月)

★小展示「近年の発掘調査成果～原始・古代編～」

開催中～9月18日(月)

★夏休み体験館

開催中～8月21日(月)

*缶バッジ・クイズラリー：毎日

*縄文マグネットづくり：16、17日

*まが玉づくり：18～21日(当日予約制)

*ガイドツアー：19、20日

★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

9月9日(土)、10月14日(土)

14:00から30分程度

場所：蛸塚公園内旧高山家住宅

参加無料、事前申込不要



*各イベントの内容、定員、参加費などの詳細は、ホームページ、SNSでご確認ください。

*イベントは、変更、中止になる場合があります。

左から
ホームページ
ツイッター
インスタグラム



図録

『伊場遺跡と
弥生時代後期の文化』
販売中

体裁 A4判 本文 65ページ

価格 700円(税込)

販売場所

浜松市博物館

浜松市文化財課

浜松市地域遺産センター



浜松市博物館 開館時間：9時～17時

〒432-8018 浜松市中区蛸塚四丁目22番1号

Eメール：hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

8～10月の休館日：8/28 9/4,11,19,25,27 10/2,10,16,23,25,30

電話：053-456-2208

FAX：053-456-2275

HP：https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/